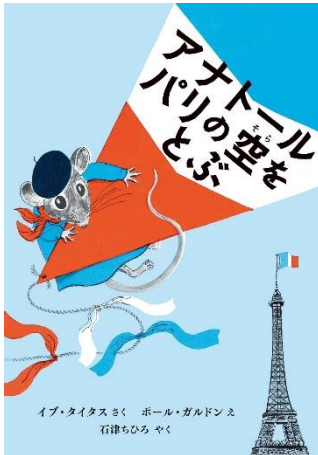


福井県優良図書

令和7年6月分

○アナトール パリの空をとぶ
イブ・タイタス // さく ポール・ガルドン // え
石津ちひろ // やく 【幼児～】



好学社 ¥1,760 円 (税込み)

働き者で賢いネズミ：アナトールがひよんなことから妻と可愛い6人の子ども、そして親友のネズミと一緒に凧に乗ってフランスの空を飛んでしまう物語です。ネズミの視点で、困難に遭遇した時にどう対処すればよいのか、とても分かりやすく描かれております。また妻も友人もそして子ども達も、アナトールを信頼してすべてを任せているという強い絆も描かれております。

これから様々な経験をして、色々な予想外の困難にぶつかることが想定される子ども達にとっても良い示唆を与えてくれる絵本になるとと思います。

○くよくよしてもしかたがない！
ワンダ・ガアグ // 再話・絵 小宮由 // 訳
【小学校低学年～】



瑞雲舎 ¥1,650 (税込み)

作者のワンダ・ガアグさんが以前出された昔話の新訳本。

奥さんの家での仕事が楽そうだった旦那さんは、外での仕事と交換してみたいと。子供や犬や牛、ヤギ、ぶた、がちょうの世話で次々トラブルが発生するも「くよくよしてもしかたない」と前向きに取り組む旦那さん。その様子を見た奥さんも「明日はもう少しうまくできるんじゃない」と大らかに受けとめる。「二人はいつまでも仲良く暮らしました」と最後に締めくくりホッとする作品です。

○魔女がやってきた！
マーガレット・マーヒー // 作
尾崎愛子 // 訳 はたこうしろう // 絵
【小学校高学年～】

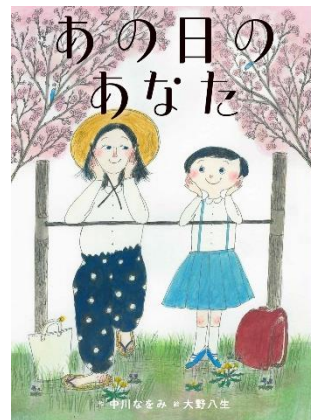


徳間書店 ¥1,650 (税込み)

「サクラの木の上的魔女」「ふたつのかけを持った男の子」「ほうき入れの王さま」「魔女のお医者さん」「イジワルおばさん」という5つの物語から構成されている。それぞれの物語に親しみのある魔女が登場し、簡潔な表現で書かれており楽しく読むことができる。一つ一つの物語がわかりやすく、小学校中学年～高学年児童が楽しく読める内容である。

この書物が切っ掛けになり、読書に興味を持つ児童が増えるような気がする。

○あの日のあなた
中川なをみ // 作 大野八生 // 絵
【小学校高学年～】



くもん出版 ¥1,650 (税込み)

不思議な転校生との交流によって自分を見つめ直し、成長する主人公・しずりの物語。

よそからやってきた友達が、しずりに刺激を与え、前を向かせた。家族や村の人々との絆を深めることが大事であると同時に、新しい友人関係を求めることは自分を変化させるチャンスでもあり、大事なことだ。

転校生を迎えるという経験は、一般の子どもたちにもあるもので、この本を読んで、新しい友達に飛び込んでみようという思いになればいい。

○恐竜のあたまの中をのぞいたら
—脳科学でさぐる恐竜の感覚—
大島英太郎 // 作 河部壮一郎 // 監修

【幼児～】



福音館書店 ¥1,760 (税込み)

本書は、小学生の高学年であろう男の子が、恐竜の研究をしているおじさんと博物館に行つて、恐竜の化石、それもあたまの化石を観察しながらその恐竜が生きて動いていた頃の様子を教えてもらっていくという絵本である。

絵本ではあるが、恐竜の世界に引き込まれてしまう「恐竜図鑑」といっても過言ではない図書である。

子どもはもちろん、様々な年代の方に手に取って読んで頂きたい一冊である。

○にじをかけたむすめ
宝迫典子 // 文 後藤仁 // 絵
【小学生（低学年）～】

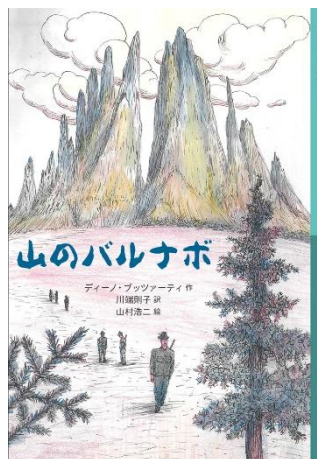


B L出版 ¥1,980 (税込み)

小さな村に古くから語り継がれてきたお話は、鮮やかで美しい彩色の絵とともに、現代の子供たちにもすんなり受け入れられるだろう。

主人公となる娘が、生まれ育ったふるさとを愛し、伝統の刺繍技法を大切に守り継ぎ、たとえ辛い環境にあっても信念を曲げず、やがては人々のために虹をかけるというストーリーは、時代を超えて、心に留めたいメッセージとなっている。

○山のバルナボ
ディーノ・ブツァーティ // 作
川端則子 // 訳 山村浩二 // 絵【中学生～】



岩波書店 ¥869 (税込み)

静かな山岳地帯で国境を守る警備兵バルナボは、厳しくも美しい自然の中で、淡々とした日々を送っています。しかし、ある事件をきっかけに、自分の弱さと向き合うことに。

この物語は、静けさの中にある「勇気」や「成長」、そして「責任」とは何かを問いかけます。

華やかな冒険や劇的な展開はないのですが、読み進めるほどに心の奥に染み入るような感動がありました。

自分自身と向き合いたいとき、静かな時間を過ごしたいとき、ぜひ手に取ってみてください。

○くらしをささえる乗りもの 飛べ！山小屋ヘリコプター
星野秀樹 // 写真 池田菜津美 // 文
【小学生（高学年）～】



新日本出版社 ¥2,860 (税込み)

山小屋に荷物を運ぶ特殊なヘリコプターの機体や仕事ぶりについて、写真に文や図を付けて詳しく説明している本です。

谷や山でもコントロールしやすい小さい体なのにとっても力持ちのヘリコプターは、「ぼく」と称して、機体の特徴や山小屋の暮らしを支えている様子を楽しい話し言葉で説明します。ふもとのヘリポートから槍ヶ岳や周辺の山にある山小屋を何度も往復して、1週間分の大量の食糧や燃料などをロープでぶら下げて運ぶある1日が紹介されています。

内容は大人にとっても興味深いもので、親子で一緒に読みたい本の一冊だと思います。

○いえができるよ
バイロン・バートン // さく
なががわちひろ // やく【幼児～】



好学社 ¥1,650 (税込み)

1981年にアメリカで発行され、2024年に翻訳された絵本です。何もない原っぱに一軒の家が建ち、家族が引っ越してくるまでが分かりやすく描かれています。

家が上がるまでの土台から床…と順番に造られていく行程は小さな子どもでも分かりやすく、2、3分で一気に読めてしまいます。読み聞かせをする大人もわくわくしながらページをめくることのできる興味深い一冊です。

昨今、子ども達は家が上がるまでの職人さんの仕事をじっくりと見る機会が少ないので、知らない世界をのぞきこんだ気持ちになるかもしれません。

○インターネットのぼうけん
内田智子 田中知可子 松村桃花 水上真梨子 // 絵・文
【小学校低学年～】



橋本確文堂 ¥1,650 (税込み)

インターネットの裏側にある危険な世界を探検する話でした。暗い道を進むと、そこには、人をわなにかけようと企んでいる者がいました。インターネット上のボタンを押すと、そこから犯罪につながるようなしかけを作っている人です。インターネットを使えば、何でもできると言ってもよい程、便利な世の中になってきましたが、そこには危険な落とし穴もある、そのことに注意を促す絵本です。幼い子ども達が、ネットを使う時に気をつけなければならない事を教えてくれる貴重な絵本だと思います。